

絹よ、輝け。 人よ、輝け。

優雅に艶めく光沢感。

しっとりとした手になじむなめらかさ。

絹は古来より真珠や象牙に並ぶ「極細の宝石」として、クレオパトラ、卑弥呼、そしてマリー・アントワネットに至るまで時代を超えて世界中の人々に愛されてきました。

西村織物は、二〇二一年で創業百六十年を迎えます。
博多織最古の織元として、創業以来、

ずっと絹織物の品質向上を追求し続けてまいりました。

どうすれば、もっと、上品に光らせることができるのか。

どうすれば、もっと、肌触りがよくなるのか。

どうすれば、もっと、しなやかで丈夫な帯に仕上げるのか。

どうすれば、もっと、身につけた人を幸せにできるのか。

今もなお、職人一人ひとり、社員一人ひとりが、

日々、帯や着物を身につける人に思いを馳せ、

絹糸を手には試行錯誤を繰り返しています。

これからも、一本一本の絹糸から、もっと光を引き出すために。

着物を着るすべての人の魅力をもっと引き出すために。

そして、日本の伝統織物の可能性をもっともっと引き出すために。

一本一本の絹糸に、万感の思いを込めて。

世界に通じる織屋となるために、精進を続けてまいります。